キューバ定期報告（内政・外交定期報告　２０１３年１２月）

I　概況

１　内政

（１）閣僚評議会で自動車の輸入及び流通に関する新たな政策の導入が決定され，運輸省発行の許可証を取得することなく車両を購入することができることになった。

（２）フィデル・カストロ前国家評議会議長の論考が当地紙グランマ等に掲載された。

（３）人民権力全国議会第８立法期第２回通常議会が開催され，ラウル・カストロ国家評議会議長が演説を行った。

２　外交

（１）ロドリゲス外務大臣がアフリカ諸国を訪問した。

（２）ネルソン・マンデラ元南アフリカ大統領追悼式典の場で，ラウル・カストロ国家評議会議長とオバマ大統領が握手を行った。

（３）ロシアの対キューバ債権の９０％を帳消しにする合意が，ロシアとキューバの間で署名された。

（４）ネルソン・マンデラ元南アフリカ大統領追悼式典に出席するために南アを訪問したラウル・カストロ国家評議会議長は，ズマ大統領と会談を行った。

（５）マドゥーロ・ベネズエラ大統領がキューバを訪問し，ラウル・カストロ国家評議会議長及びフィデル・カストロ前国家評議会議長と会談を行った。

II　内政

１　自動車の小売り販売

　１８日に開催された閣僚評議会で，自動車の輸入及び流通に関する新たな政策を導入することが決定された。それにより，現在車両を購入する際には運輸省が発行する許可証の取得が必要であるが，今後右許可証の取得は不要となる。その結果，車両の小売り販売が自由化されることになるが，この自由販売に関する措置は，段階的かつ漸進的に実施される。また，今次措置によって得られる収入によって，キューバ全国における公共交通の発展に充てられる基金が創設される。

２　フィデル前議長の論考の掲載

　１９日付当地紙グランマ等に，「マンデラは死んだ。なぜアパルトヘイトの真実を隠すのか」と題されたフィデル・カストロ前国家評議会議長の論考が掲載された。本論考の中で，ネルソン・マンデラ元南アフリカ大統領追悼式典でのオバマ大統領とラウル・カストロ国家評議会議長の握手に言及し，ラウル議長を賞賛した。

３　人民権力全国議会第８立法期第２回通常議会の開催

（１）２０日及び２１日，人民権力全国議会第８立法期第２回通常議会が開催され，新労働法案に関する分析及び同法案の可決，経済社会政策方針の進捗状況，２０１３年経済計画及び２０１３年国家予算の執行状況，２０１４年経済計画及び同国家予算法に関する審議とその可決が主な議題となった。

（２）人民権力全国議会第８立法期第２回通常議会開会中に報告又は決定された主な事項

　ア　２０１３年の経済成長率は２．７％の見込みであり，２０１４年は２．２％の経済成長率が見込まれている。

　イ　砂糖，農牧畜産業及びホテル・レストランについては対前年比増の見通し。

　ウ　２０１４年予算は，純収入４３２億５，８００万ペソ，総支出４７１億４，８００万ペソであり，３８億９千万ペソの赤字予算（ＧＤＰの４．７％相当）。赤字分は，キューバ中央銀行による増刷と，国債の発行でカバーする。

　エ　経済社会政策方針を履行するため，現在，キューバの経済社会モデルのコンセプト化に係る素案作成作業が取り進められている。

　オ　通貨統一については，最終的にはキューバの通貨は，キューバ・ペソ（ＣＵＰ）に統一するが，二重通貨システムが解消されても，ＣＵＣの購買力は失われない。

　カ　これまで２７０の非農業分野の協同組合が承認され，更に，２２８が承認プロセスにある。

　キ　２０１２年の平均寿命は７７．９歳，６０歳以上の高齢者は人口の１８．３％。その数値は２０３０年に３０％，２０５０年には３６％に達することが予想されており，現在の諸条件が維持される場合，２０２６年に人口の自然減が始まる。

　ク　キューバは現在，５万６，６００人の医師がいる他に，外国で勤務する医師が２万１千人いる。

（３）ラウル・カストロ国家評議会議長が演説を行い，２０１３年のキューバ経済及び２０１４年の経済の見通し，経済社会政策方針の実施や外交課題等に言及した。

III　外交

１　ロドリゲス外相のアフリカ諸国訪問

　ロドリゲス外務大臣は１１月末から１２月初頭にかけエチオピア・セーシェル・南アフリカ・ジンバブエ・アンゴラを訪問し，１１月２７日にジェイムス・ミッシェル・セーシェル大統領と，２９日にロバート・ムガベ・ジンバブエ大統領と，１２月４日にマヌエル・ヴィセンテ・アンゴラ副大統領と会談した。

２　アラン・グロス氏問題に関するケリー国務長官の発言

　３日，ブリュッセルのＮＡＴＯ本部での記者会見において，ケリー国務長官は，アラン・グロス氏の問題について現在議論を行っているところであるが，その議論の詳細について私は一切言及することができない，と述べた。

３　「５人の英雄」に関するキューバ外務省米国局長声明の発出

　４日，ホセフィナ・ビダル・キューバ外務省米国局長による声明が当地紙グランマに掲載された。その中で，「５人の英雄」とアラン・グロス氏問題の解決を得るための対話に向けた用意があることが表明された。

４　米国における領事サービスの再開

　６日，Ｍ＆Ｔ銀行は，在ワシントン・キューバ利益代表部の口座の最終閉鎖を２０１４年３月１日まで延長し，同年２月１７日まで領事サービスに関する預金を受け入れるとの決定を行った。それを受け，キューバ利益代表部は領事サービスを再開した。

５　ラウル議長とオバマ大統領の握手

　１０日，ネルソン・マンデラ元南アフリカ大統領追悼式典に出席したラウル・カストロ国家評議会議長が，同じく同式典に出席していたオバマ米大統領と握手を行った。このことについて，ラウル議長はインタビューにおいて，「普通のことである。我々は，文明人なのだから。」と応えた。一方，米大統領府は，今回の握手は事前に予定されていたものではなかったことを明らかにした。

６　ロシアの対キューバ債権放棄

　１０日，旧ソ連時代のロシアの対キューバ債権の９０％を帳消しにする合意にロシアとキューバが署名したと報じられた。この合意により，キューバは１０年間で３２億ドルを支払う代わりに，２００億ドルに加え利子の支払いを免除される。

７　ＥＵ・キューバ間の協定の締結に向けたＥＵの交渉マンデート付与の延期

　１２日，当初１６日に開催されるＥＵ外相理事会で決定されると見込まれていたＥＵ・キューバ間の協定を交渉するマンデートの承認が２０１４年始めまで延期されることになったと報じられた。

８　ラウル議長とズマ大統領の会談

　ネルソン・マンデラ元南アフリカ大統領追悼式典に出席するために南アを訪問したラウル・カストロ国家評議会議長は，１２日，ズマ大統領と会談を行い，キューバと南ア及びカリブ地域とアフリカの友好関係等につき意見交換した。

９　フィデル前議長とイグナシオ・ラモネ氏の懇談

　１３日，フィデル・カストロ前国家評議会議長は，作家・ジャーナリストであるイグナシオ・ラモネ氏と懇談した。

１０　ロイヤル・バンク・オブ・スコットランドに対する制裁

　１３日，当地紙グランマは，キューバ・イラン・スーダン及びミャンマーと取引を行ったとして，米国がロイヤル・バンク・オブ・スコットランドに１億ドルの罰金を科したと報じた。

１１　ディアスカネル第一副議長のベネズエラ訪問

　１７日，ベネズエラを訪れたディアスカネル国家評議会第一副議長は，カラカスで開催されたＡＬＢＡ・ペトロカリブ臨時首脳会合に出席した。

１２　マドゥーロ大統領のキューバ訪問

　キューバを訪問したマドゥーロ・ベネズエラ大統領は，２１日，フィデル・カストロ前国家評議会議長と会談し，２３日には，ラウル・カストロ国家評議会議長と会談した。

１３　要人来訪

（１）フェイホー・ガリシア州（スペイン）知事

（２）マドゥーロ・ベネズエラ大統領

１４　要人往訪

（１）ロドリゲス外務大臣のアフリカ諸国訪問

（２）ラウル議長の南ア訪問

（３）ディアスカネル第一副議長のベネズエラ訪問

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（了）